

僕はどちらを取るだろうか

そのまま、コッテン。

何と、ちんぶんかんぶんな日だろう。

寝ては食い、寝ては風呂、
寝てはまためし。

体力を蓄える為とでも言っておこうか。

兄貴、ファイト！

兄貴、ファイト！

兄貴よ、ファイト！

寝ていると、その言葉が僕の頭に響きだした。

机に向かって勉強している兄貴の後ろに、
ニューーと、僕の精が現れて、

応援の旗を振っている様子を想像した。

どんな事があるかと、

世界がひっくり返ろうと、

兄貴には合格してほしい。

それには僕はどんな犠牲も惜しまない。

鉛筆でも、ノートでも、本でも、僕の書いた
大事な絵でも何でもささげたい気持ちになった。

僕はじっと目を閉じて祈った。